# 第１回南あわじ市下水道事業審議会
# 議事要旨

日　　時：令和８年９月２９日（火）午後１時３０分～３時５０分

場　　所：南あわじ市役所第２別館３階　多目的ホール

出席委員：瓦田会長、四宮副会長、米田委員、黒田委員、井本委員、藤川委員、
　　山口委員、廣瀬委員（８名、欠席２名）

事 務 局：新地まちづくり建設部付部長
　　下水道課：郷課長、東副課長、千川係長、戸田事務員

傍 聴 者：なし

会議概要：

１．開会

２．市長挨拶
　市長よりあいさつを行った。

３．委嘱状交付
　市長より、委員を代表して瓦田委員へ委嘱状の交付を行った。

４．委員・事務局紹介
　事務局より、出席委員・事務局職員の紹介を行った。

５．会長及び副会長の選出
　南あわじ市下水道事業審議会条例第５条第１項に規定に基づき、委員の互選により、
会長：瓦田委員、副会長：四宮委員を選出した。

６．諮問

市長より瓦田会長へ諮問書の伝達を行った。

７．議事

議題①　南あわじ市下水道事業審議会の運営について

（運営要領・会議の公開に関する要領）

資料に基づき事務局説明。質疑等なく原案のとおり要領を制定する旨を決定した。

議題②　議事録署名委員の指名について

南あわじ市下水道事業審議会運営要領第 11 条第２項の規定により、瓦田会長より、四宮委員、米田委員を指名した。

議題③　南あわじ市下水道事業の現状と課題について

１．事業概要

資料に基づき事務局説明。

【主な意見・質疑等】

（委　員）４ページの雨水管部分の「×」印は何を示しているのでしょうか。

（事務局）本市では汚水事業のみを行っており、雨水事業を行っていないことを示しています。

（副会長）水洗化率が伸び悩んでいる理由は。また、補助金の活用はできないのでしょうか。

（事務局）高齢者にとって新規接続のコストパフォーマンスが悪いことなどが考えられます。供用開始から３年以内に接続いただくと早期接続の奨励金が交付されます。

議題③　南あわじ市下水道事業の現状と課題について

２．経営状況

資料に基づき事務局説明。

【主な意見・質疑等】

（委　員）経費回収率が漁業集落だけ極端に低い理由はなぜですか。

（事務局）汚水量が少なく維持管理費に多大なコストがかかっているためです。

議題③　南あわじ市下水道事業の現状と課題について

３．兵庫県内事業体との比較

資料に基づき事務局説明。

【主な意見・質疑等】

（委　員）18 ページの有収率について、処理した汚水量が分母であり、８%分は料金を徴収できていないということでしょうか。計算してみると 3,000 万円程度になります。

（事務局）有収率、分母の方には処理場で計測した汚水量が入って、有収水量は使用料から算出しますが、処理場に流れてくる間に雨水が混じることがあります。あと、誤接続というのもありますし、井戸水を使ってる場合に生じる誤差もあります。

議題③　南あわじ市下水道事業の現状と課題について

４．問題及び課題

資料に基づき事務局説明。

【主な意見・質疑等】

（委　員）29 ページの１番の最後にある、国土交通省が推進している「集合処理から個別処理への転換」というのは、既に繋いでいる下水道を止めて、また個人で合併浄化槽を設置して下さいというお話ですか。

（事務局）国においても、下水道を取り巻く環境が変化しています。近年の震災等により下水道が大きな被害を受けた事例では、人口がそれほど多くない地域で下水道を復旧するかどうかが議論されました。その際、下水道を再整備するか、合併浄化槽に転換するかについて、十分にコストを比較する必要があります。

個別の浄化槽として一般に想定されるのは「個人設置型」の合併処理浄化槽であり、個人で費用を負担して設置するものです。一方、「ベストミックス」には、個人設置型と市町村設置型があります。国土交通省が推進しているのは、市町村設置型であると考えられます。例えば、10 数軒を対象とする一つの浄化槽を市が設置し、下水道事業と同様に使用料を徴収して運営するものです。広い意味では、そのような考え方であるとご理解いただければと思います。

（委　員）論点は、使用料体系と施設の統合・廃止の２点に集約されるのではないかと考えます。例えば、一般の方にも分かりやすいシミュレーションにより、使用料の改定が 10%程度ではなく 100％となる場合には、どの程度になるのかを示していただきたい。また、仮に施設数を半減する場合にはどの程度の効果があるのかなど、見通しを伺えれば。

（事務局）使用料の改定率については、今後の議論に合わせて資料を提出したいと考えています。また、統廃合については、現在の 18 処理場から 12 箇所への統廃合計画があり、もともとの最大 24 処理区を半減することになります。

８．その他

・今後のスケジュールについて

資料に基づき事務局説明。質疑等なし。

９．閉会

四宮副会長よりあいさつを行った。